

イマカナ

楽しむ

のぞいてみよう
ボードゲーム

大人も子どもも夢中

中学3年生の史上最年少棋士、藤井聰太四段の活躍で一躍注目を集める将棋をはじめ、囲碁やオセロなど盤上勝敗を競うボードゲーム。ルールや難易度はそれぞれですが、脳を鍛え、考える力や決断する力を培うなど子どもの知育効果にも期待が高まっています。本気で腕を磨くもよし、遊び感覚で家族や仲間と盛り上がるもよし。初心者でも安心して楽しめるスポットを探しました。

神奈川大学理学部情報科学科助手
(ゲーム理論専門)

南雲 夏彦さん(57)

わくわく感・宝探しのよう

盤上で駒やカードなどを動かして勝敗を競うボードゲーム。毎年、世界中で新作が生まれ、数え切れないほど多くの種類が存在します。その中でも、将棋やチェス、リバーシ、オセロなど互いの手の内を公開し、偶然性に左右されないゲームを「完全情報確定ゲーム」といいます。ルールを覚え、訓練を積み重ねることで実力がつき、結果につながるところはスポーツに似ています。また、あらゆる局面からどのように駒を使えば、自分に有利なゲームができるのか戦略を練るために、思慮や判断力が身に付くと考えられます。

この他にも、マージャンやソントラクトアリッジ(カードゲームの一環)のように相手に見えない手札を持つ「不完全情報ゲーム」や、サイコロを使って遊ぶところのような偶然性に左右される「不確定ゲーム」もあります。この二つのゲームは、手札などの条件がそろえば、初心者が経験者と子どもが大人に勝てることもありますので、家族や仲間同士で集まる機会に楽しむこと上り上がること請け合いで。

ボードゲームは、ルールがシンプルで簡単に覚えるものが多く、やればやるほど奥が深い。コンピューターによってプログラムが組み込まれたゲームとは違い、対戦相手から思ひがけない妨害工作や対抗手段が繰り出され、どのような結果をを迎えるのか、誰も知ることはできません。勝敗がつくまでのわくわく感はまるで宝探しのようです。

なくも、なつこ 1960年、東京生まれ。5歳で将棋、6歳で囲碁を覚えて以来、ボードゲームのどりごとに、囲碁六段、将棋とオセロ三段。



初心者でも和氣あいあい



女性のための囲碁入門教室

◆平塚市
☆教室の問い合わせは、平塚市まちづくり財団文化事業課☎0463(32)2237。9路盤から対局スタート
年齢に関係なくレベルアップ

められます」と呼び掛けます。

まずはテキストに沿ってルールを学び、小さな9路盤から対局を経験していく。友人を誘つて参加した鈴木和子さん(72)は、「老後も続いたり、家でも打てる」と夫に言われ、やってみることにしました。あっという間に2時間過ぎてしまいますが、充実した笑顔を見せる。受講生は50~60代が中心だが、最年長は80歳超。辻さんは「高齢になってもできるし、年齢に関係なくレベルアップできます。頭もさえてボケ防止にもいいですよ」と。和気あいあいとした雰囲気の中で、優しく手ほどきしていました。

囲碁は、四角い盤面に黒と白の碁石を交互に打ち、陣地を囲ひ合う競技。辻さんは「まだ女性の競技人口が少なく、クラブでは大事にされますし、あまりお金もからず手軽に始められます」と呼び掛けます。

まずはテキストに沿ってルールを学び、小さな9路盤から対局を経験していく。友人を誘つて参加した鈴木和子さん(72)は、「老後も続いたり、家でも打てる」と夫に言われ、やってみることにしました。あっという間に2時間過ぎてしまいますが、充実した笑顔を見せる。受講生は50~60代が中心だが、最年長は80歳超。辻さんは「高齢になってもできるし、年齢に関係なくレベルアップできます。頭もさえてボケ防止にもいいですよ」と。和気あいあいとした雰囲気の中で、優しく手ほどきしていました。

日本将棋連盟
子供将棋スクール横浜校
△横浜市南区

☆横浜市南区吉野町3の10、シャンティ吉野町2階「Y.Y. World围棋・将棋」内。横浜市営地下鉄吉野町駅1番出口徒歩1分。☎045(251)4551=教室開催時のみ。☎045(308)6167=日本将棋連盟事務部道場課。

木谷道場 昭和を代表する囲碁棋士・木谷實九段(1909~75年)が平塚市桃浜町に開いたプロ棋士養成所。全国はもとより韓国からも才能豊かな弟子が集まり、戦前・戦後を通して多くの名棋士を輩出した。現在、跡地には記念の石碑が建つ。

木谷實九段が運用していた碁石をかたどった最中。「白」は白いシングルの白のこじあん。竹炭で皮に色をつけた「黒」は、北海道産のつぶしあん。6個入り500円、木箱15個入り1458円ほか。平塚市紅谷町1の11。☎0463(55)1038。

囲碁にちなんた

●井筒屋
「囲碁の町ひらつか」

昔ながらの素材な和菓子「石衣」で碁石を表現。

「黒石」はこまの香ばしさが味わえる
「白石」はゆずの香りが爽やかな白あん。各1個200円、4個入り800円。平塚市田村6の4の14。☎0463(55)0053。

●第2回湘南ひらつか囲碁まつり

8日午前11時~午後4時45分、平塚市紅谷パールロード商店街(JR平塚駅北口徒歩2分)。当日飛び入り参加も可能な「1000面打ち大会」をはじめ、トッププロによる囲碁教室やサイン会を開催。囲碁グッズや平塚の名産品なども販売される。問い合わせは同財団。

木谷實九段が運用していた碁石をかたどった最中。「白」は白いシングルの白のこじあん。竹炭で皮に色をつけた「黒」は、北海道産のつぶしあん。6個入り500円、木箱15個入り1458円ほか。平塚市紅谷町1の11。☎0463(55)1038。

木谷實九段が運用していた碁石をかたどった最中。「白」は白いシングルの白のこじあん。竹炭で皮に色をつけた「黒」は、北海道産のつぶしあん。6個入り500円、木箱15個入り1458円ほか。平塚市紅谷町1の11。☎0463(55)1038。

●井筒屋
「囲碁の町ひらつか」

昔ながらの素材な和菓子「石衣」で碁石を表現。

「黒石」はこまの香ばしさが味わえる
「白石」はゆずの香りが爽やかな白あん。各1個200円、4個入り800円。平塚市紅谷町1の11。☎0463(55)1038。●井筒屋
「囲碁の町ひらつか」

昔ながらの素材な和菓子「石衣」で碁石を表現。

「黒石」はこまの香ばしさが味わえる
「白石」はゆずの香りが爽やかな白あん。各1個200円